

課題名：予防・健康づくり分野のヘルスケアサービス実用化手法の開発

代表機関／代表者：株式会社NTTデータ経営研究所／大野孝司

研究期間：令和7年8月～令和10年3月

研究開発目的

- ヘルスケアサービス実用化研究事業で採択される課題（連携対象課題）への伴走支援を通じて各課題の社会実装の成功確度を高める
- 支援を通じて事業開発プロセスを実証し、事業開発フレームワークとしてモデル化し実用化手法としてとりまとめる

取り組み

- 連携対象課題の実用化計画の策定支援
- 支払候補者・当事者へのヒアリングによる仮説検証
- 連携対象課題が実証すべきエビデンス・指標の検討
- 多面的価値シミュレーションツール開発
- 事業開発プロセスのとりまとめ
- ケーススタディ含むノウハウ集のとりまとめ

期待される成果

- 実用化手法をとりまとめることで、我が国におけるヘルスケア事業への参入検討や事業開発に役立てられる
- ヘルスケアサービスの実用化・社会実装を継続的に支援する体制及び方策についての知見が抽出される

実用化ノウハウ集のイメージ

- 連携対象課題の実証結果も踏まえて一連のノウハウを最終成果物としてとりまとめる

1.はじめに 1.本資料のスコープとねらい 2.構成と活用方法	3.事業開発フレームワーク （ワークシート付） 1.事業開発の進め方全体像 2.Lean Product Canvas 3.当事者参画型開発 4.市場開発コンセプト導出 5.Growth Flywheel戦略 6.多面的価値シミュレーションツール
2.ステークホルダー別のニーズ・課題 1.ステークホルダーと課題の全体像 2.生活者 3.医療・介護 4.メーカー・小売・サービス 5.自治体 6.雇用主 7.保険者 8.ステークホルダーと求めるエビデンス一覧	4.ケーススタディ 1.生活習慣病：●●●（サービス名） 2.生活習慣病：■■■ 3.老年期疾患：●●● 4.老年期疾患：■■■ 5.メンタルヘルス：●●● 6.女性の健康：■■■

成果を活かした事業開発環境イメージ

- 事業開発フレームワークを整備することで、ヘルスケアの事業開発ノウハウを集積し支援体制の強化につなげる

